

古代の広場

考古博物館と駐車場の間に広がる「古代の広場」は、この場所や県内各地で発見された古墳や住居跡等を復元して、野外展示している所です。それぞれ時代を異にした4ヶ所の遺跡の一部が実際の大きさと紹介されています。

まず、入って左側には、現在中央自動車道境川パーキングエリアとなっている所に築かれていた5世紀中頃の古墳、馬乗山1号墳(八乙女塚古墳)の主体部(遺体を埋葬した所)が復元されています。古墳の頂上から4基の石棺がみつかりましたが、一つの古墳に4つの石室をもつ例は特異で、古代甲斐国を探る上で興味深い古墳です。そのうちで保存状態のよいものを3基復元しました。おそらく親しい関係にある人々を同じ墳丘上に葬ったものでしょう。



その隣の石を敷き詰めた跡は、一の沢西遺跡(笛吹市境川町)から発掘された縄文時代後期の敷石住居です。縄文時代の一般的な住居は竪穴住居とよばれる地面を楕円形に掘り下げて柱を建てたものですが、縄文時代中期末頃からこうした石を敷き詰めた住居が現れ始めます。この住居は入口が長くのび、持つところのついた鏡のような形をしているため、柄鏡形敷石住居といわれています。

円錐形の建物は、金の尾遺跡(甲斐市)から発見された縄文時代中期(約4,500年前)の竪穴住居跡を復元したものです。実物は残っていませんが縄文時代の住居は、おそらくこのように材料の性質をよく見きわめて利用したことと思います。竪穴住居の中には炉(いろり)が築かれています。中に入ると当時の住居内の雰囲気を感じることができます。



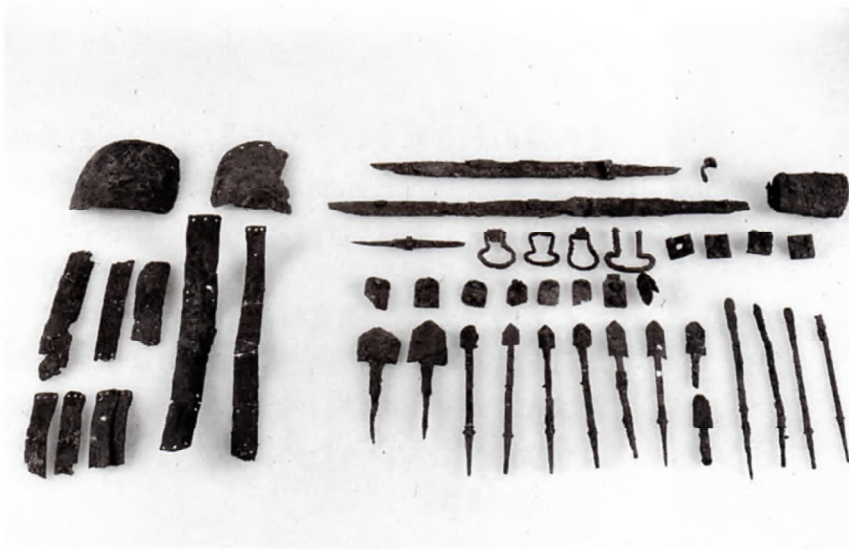
考古博物館構内古墳

「古代の広場」の植え込みの中に立てられている石は、今から1,400年ほど前(古墳時代後期)にこの場所に築かれていた古墳の石室の一番奥の壁の石です。

この古墳は、甲斐銚子塚古墳などとは違って、横に入口をもつ横穴式石室の古墳です。天井の石はもうなくなってしまいましたが、床に敷かれた石がほぼ完全に残っており、当時の大きさを知ることができます。敷石の上からは刀やよろいなどの一部の他、馬具・玉類など豊富な副葬品が発見され、この地域が古墳時代後期になってもなお大きな力をもっていたことをうかがわせます。

■遺物

かっちゅうこごねるい 甲冑小札類、馬具類、玉類、てつぞく ちよくとう 鉄鏃、直刀



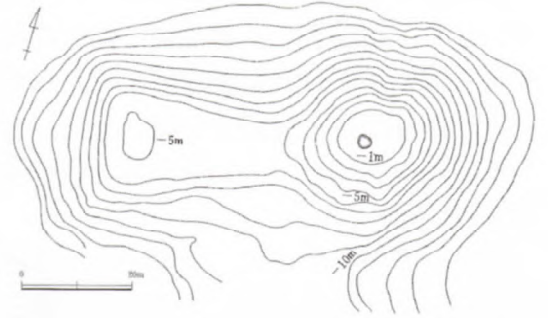
いわしみず 岩清水遺跡

岩清水遺跡は考古博物館のすぐ南西の方向に位置し、弥生時代後期と古墳時代中期を中心とした遺跡です。昭和53(1978)年に発掘調査を行っており、壺、甕などの土器が出土しています。平成6(1994)年6月より公園整備のための本格的な発掘調査が行なわれ、弥生時代の住居跡13軒と円形墓1基、古墳時代中期のブリッジ(土橋)を伴った円形墓2基が確認されています。円形墓の埋葬主体部(遺体を埋めた穴)はどれも削平されていて、検出できませんでした。また、すぐ東側にほぼ同時期と思われるかんかん塚(茶塚)古墳があり、それとの関係も注目されます。



大丸山古墳

古墳時代前期、4世紀後半頃に造られた前方後円墳です。標高320mの山の尾根を利用して築かれており、冬になると考古博物館のすぐ裏手の山中に特徴ある姿を浮かび上がらせます。昭和4(1929)年に地元住民によって発掘され、上下二段に分かれた珍しい構造の石室や、豊富な副葬品などが発見されました。大丸山古墳の埋葬施設は、後円部頂につくられた組合式石棺を囲む竪穴式石室と、石棺の蓋石上部に竪穴式石室をつくった二重構造をもつものです。全面に朱塗りされた石棺内は成人の男女を一緒に埋葬した主体部で、石枕、二体分の人骨、銅鏡などが見つかっていません。これに対して竪穴式石室は副葬品のための副室といえ、短甲とよばれる鉄製のよろいや鉄剣・鉄刀などの武具、のこぎり・手斧などの工具が納められていました。こうした二重構造状の石室は全国でも少数です。さらに、成人の男女を一緒に埋葬したと思われることや、全国的にも最も古いと考えられる短甲が副葬されているなど興味深い点が多い古墳です。なお、昭和46(1971)年に東京国立博物館三木文雄らにより再発掘調査が行われました。



大丸山古墳測量図

- 古墳の大きさ 全長約99m(120mという説もあります。墳丘の詳しい調査が行われていないためはつきりしません。)前方部の幅約34m、後円部の直径約47m
- 石室 外側は割石小口積みの竪穴式石室、内側は組合式石棺
- 遺物 銅鏡3面、人骨2体分、石枕、短甲、刀剣など [東京国立博物館蔵]

東山北遺跡

東山北遺跡は、甲府盆地を見下ろす標高300mの丘陵上に位置しており、弥生時代後期の集落遺跡として知られていました。弥生時代後期の住居が27軒発見されています。

平成2(1990)年度より4年間、公園内の歴史植物園建設に伴って発掘調査が行われ、弥生時代後期の集落と、土器を焼いたと思われる皿状のくぼみや土坑などが発掘されました。特に注目されたのは、一辺が36m×31mの方形周溝墓が発見されたことです。この規模の方形周溝墓は県内最大であるだけでなく、日本全国でもトップクラスであることは間違いありません。

この方形周溝墓は4世紀後半代に造られています。4世紀には同じ公園内にある大丸山古墳や甲斐銚子塚古墳などがあり、三者の関係が注目されています。三者には形態的に大きな違いがあり、これらに埋葬された人々の差が何を示すのか、今後解明すべき点です。

- 遺物 弥生土器(壺、甕、台付甕)
土師器(坏、高坏、甕)、鉄器(鋤、鍬先など)
青銅器(環、鏃)、石器(石包丁、磨製鏃)
土製品(丸玉、管玉、勾玉)、馬歯
中でも赤彩塗布された高坏、S字状口縁台付甕、北陸系の土器を模倣したもの、馬の歯などが注目されています。馬の遺骸は甲府市塩部遺跡とともに全国的にも最古級の出土品です。

東山北遺跡方形周溝墓



東山南A・B遺跡

東山南遺跡は、風土記の丘の区域内で最も標高の高い東山の平坦面に位置し、公園造成に先立つ試掘調査によりその所在が明らかになりました。この遺跡群は、東山の台地の西方の景観のよい場所に占地しているA地区と、それより東方100m離れた先端部に位置するB地区に分けることができます。

東山南A遺跡は、100m四方の狭い範囲に周溝墓が密集して造られています。確認された遺構は、弥生時代終末の方形周溝墓2基、古墳時代5世紀後半の円形周溝墓8基、方形周溝墓1基の全部で11基で、上の平遺跡同様に集落から離れた所につくられた墓域ということが明らかになりました。上の平遺跡との関連については、今後さらに検討が必要です。

東山南B遺跡からは、弥生時代の住居跡1軒、古墳時代中頃の円形周溝墓2基と竪穴遺構、性格不明の溝と土坑が発見されました。盛り土が低く周囲に溝がめぐる円形低墳丘墳は1号墳は3ヶ所、2号墳は5ヶ所に土橋(ブリッジ)をもっていること、出土した須恵器が県内稀少でしかも最古の部類の物であることなど、特徴のある遺跡です。特に周辺の古墳群の中では、時間的に近い岩清水遺跡やかんかん塚(茶塚)古墳との関連が注目されています。



東山南B遺跡

- 遺物 (A) 台付甕、壺、土師器、須恵器、直刀
(B) 須恵器の把手付き碗、樽型甗、土師器

上の平遺跡

弥生時代後期から古墳時代前期(3世紀後半～4世紀前半)にかけての方形周溝墓と呼ばれる墓を中心とする遺跡です。方形周溝墓とは周囲に四角く溝を巡らし、中央に遺体を埋葬したことから名付けられました。昭和54(1979)年～平成5(1993)年にかけて6度の発掘調査が行われ、125基もの方形周溝墓が見つかり、全国的にも大きな話題となりました。

墓の大きさは、縦30m、横24mもある大きなものから、ほんの数mのものまで様々であり、当時すでに身分の差、権力の差があったことをうかがわせます。

現在、最も大きなものを含め3基が復元され、また33基が植え込みによって位置と大きさが表現されています。これらは風土記の丘公園の中の方形周溝墓広場として、楽しみながら遺跡について学べる場として利用されています。



いなりづか 稲荷塚古墳

稲荷塚古墳は東山南遺跡の北側の緩やかな斜面に位置し、古墳が2基発見されています。1号墳は直径20mの円墳です。石室から、土師器、須恵器、直刀、挂甲小札類、鉄鏃、馬具などたくさんの副葬品が出土しています。中でも、銀象嵌装飾円頭大刀と銅鐃の発見は注目すべきものです。象嵌装飾円頭大刀は県内で初めて見つかったものです。銅鐃は仏教に関係のある遺物として古墳時代後半に東国を中心として分布するもので、盆地東南部で発見されたのは初めてです。これらの遺物から、この古墳は6世紀後半につくられ、7世紀まで追葬が行われていたと考えられています。古墳時代後期になって中心地が他地域へ移った後も、この地に依然として有力豪族がその地位を保っていたことが稲荷塚古墳の調査によって確認されました。

- 古墳の大きさ 直径約20m
- 石室 横穴式石室、長さ8.2m、幅(奥壁幅)1.6m、高さ1.9m
- 遺物 土師器、須恵器、直刀、挂甲小札類、鉄鏃、馬具、玉類、銅鐃など



大刀



鐃



1号墳石室

なべつるづか 鍋弦塚

鍋弦塚は直径約10mの中世の墳墓です。この墳墓は明治40(1907)年に、地元の人が人骨の入った陶器製の壺を見つけたことをきっかけに発見されました。このいきさつを記した「東山の碑」が塚の前に建てられています。壺は鎌倉時代の常滑製の物で、中に入っていた人骨は焼かれており、火葬された骨が入れられていたと推定されています。昭和63(1988)年の公園整備に伴う発掘調査で、鎌倉時代の蔵骨器(骨を納める器)を埋めた墳墓であることが明らかになりました。

中世の地元有力者の墓である可能性が高い墳墓です。

- 古墳の大きさ 直径約10m
- 遺物 陶器製壺、人骨



鍋弦塚全景



出土した蔵骨器

たていし 立石遺跡

立石遺跡は、甲府市上向山町の国道358号線沿いに位置する遺跡です。昭和63(1988)年度の調査では、25,000年前頃の地層である始良丹沢火山灰層より下から台形様石器などの石器群が発見されたことが特に注目されています。これらの石器群は山梨県で最古のクラスに属するものと考えられます。

- 遺物 旧石器時代の石器群



立石遺跡から出土した石器

みやのうえ 宮ノ上遺跡

宮ノ上遺跡は平成6(1994)年に山梨県・旧中道町教育委員会が発掘を行った遺跡です。縄文～古墳時代の住居跡や方形周溝墓7基、その他土坑や中世溝状遺構が発見されています。県内ではこれまで発見例のなかった埋葬主体部(遺体を埋めた穴)を残している方形周溝墓があり、その中から織物の付着した鉄剣も発見されています。なお、出土した鉄剣・織物はともに県内最古の物です。また、すべての方形周溝墓は東海系の文化を伝えており、当時の流通経路をさぐる手がかりとなっています。さらに、墓域と集落跡がセットで確認されていますが、これは東日本でも例が少ない大変貴重なことです。

- 遺物 鉄剣、絹織物痕、弥生土器、土師器

施設のご案内

■考古博物館

考古博物館は、山梨県の長い歴史の中でつちかわれた各種の考古資料に関して、その収集・保管・展示・公開、調査研究ならびに普及・啓発などの事業を行うことを目的に、1982（昭和57）年11月3日開館しました。同施設2階には、山梨県埋蔵文化財センターが併設されています。

主な施設・設備

エントランスホール……入館時および集合時の整列やはじめの会、概要説明などを行う際に利用します。飲食はできません。

お手洗い……男子 小4 個室2 女子 個室4
身障者・オストメイト対応の多目的トイレ1

その他設備……車いす3台、水道は博物館前（外）に設置しています。

■風土記の丘研修センター

風土記の丘研修センターは1989（平成元）年に開設されました。考古博物館の附属施設としての性格をもち、博物館が行う火おこしなどの教育普及活動や各種研修等が行われます。また風土記の丘の諸施設の効果的な利用を進めるための管理機能をもっています。

主な施設・設備

エントランスホール……ゆとりのある空間に、山梨の歴史や風土を紹介する壁面装飾や若干の展示資料が置かれています。

講堂・研修室……博物館活動に関するさまざまな催しが行われます。
研修室は、学校等での来館の際、雨天時の昼食場所としてご利用いただけます。なお講堂での飲食はできません。

実習室……主に教育普及活動で利用します。

お手洗い……男子 小4 個室2 女子 個室3 身障者用トイレ1

その他設備……車いす2台、水道は公園内に設定しています。

■急時の対応

緊急の際には受付までお知らせください。AED（自動体外式除細動器）を設定しています。

●近隣の医療機関

| | | |
|--------------------|----------------|-----------------|
| 甲府市立甲府病院（総合） | 甲府市増坪366 | TEL055（244）1111 |
| 北野医院（内科・小児科） | 甲府市下曾根781-1 | TEL055（266）3027 |
| 石和南整形外科クリニック（整形外科） | 笛吹市石和町東油川319-1 | TEL055（261）8011 |
| ふえふきこどもクリニック（小児科） | 笛吹市石和町井戸172-1 | TEL055（244）5311 |

博物館利用案内

■考古博物館

開館時間 午前9時～午後5時
(ただし、入館時間は午後4時30分まで)

休館日 毎週月曜日(祝日を除く)
祝日の翌日(日曜・祝日は除く)
12月29日～1月1日

※このほか、臨時休館および臨時開館がございます。

常設展観覧料

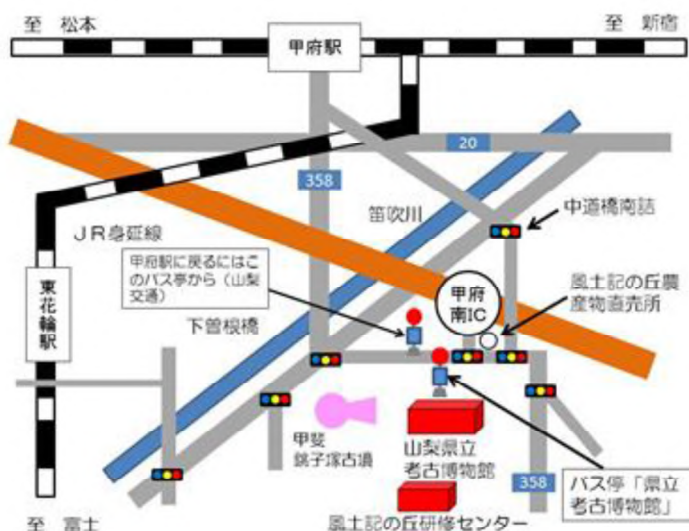
一般・大学生 <個人>210円 <団体>170円
小・中学生・高校生は無料です。
※団体は20名以上。(県内の宿泊施設に宿泊の場合は、団体料金が適用となります。)
※企画展・特別展の料金はその都度別に定めます。

■風土記の丘研修センター

休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)
12月29日～1月1日

■学校の教育課程に基づくご来館のお申し込み・お問い合わせ

風土記の丘研修センター TEL055(266)5286



交通案内

☆路線バス

JR 甲府駅南口 山梨交通観光バス3番乗り場
中道橋経由 豊富行
『県立考古博物館』下車

☆中央自動車道

甲府南インターから1分(すぐ前)

考古博物館見学の手引き

平成22年3月発行 平成29年3月一部改訂
編集・発行 山梨県立考古博物館

山梨県甲府市下曾根町923

TEL055(266)3881 FAX055(266)4882

